予約なしワクチン［ミッドナイト接種］が実現!!
副反応など、ワクチン安心相談ダイヤル開設!

港区議会公明党は、新型コロナワクチンの接種率が特に低い若者の接種率向上のために、予約なしのワクチン接種などを、区長に緊急要望。その結果、時間枠を拡大した金曜日の深夜0時までの「週末ミッドナイト接種」と22時まで可能な「火曜・ナイトエリア接種」が開始となり、時間帯によっては予約なしでの接種も可能に!

接種率向上の為には、不安等を解消する対策が必要であることも、9月9日の定例会代表質問で訴え。その結果、看護師に気軽に副反応や健康被害救済制度など相談できる電話相談窓口「みなとワクチン安心相談ダイヤル」が、同月21日より開設されました!

↑港区議会公明党で
ミッドナイト接種会場を視察

「みなとワクチン安心相談ダイヤル」
☎0120-607-567:月～金曜 8時30分～17時15分

令和３年第３回 港区議会定例会 丸山たかのり 一般質問より

質問 コロナ流行第５波では家庭内感染が大変増えているが、本人が感染しても傷病手当や休業補償のないフリーランスの方に、区として支援をすべき!

答弁 フリーランスの方に様々な制度などの情報が行き届くよう更に工夫し、相談者に寄り添った丁寧な相談を実施する。

質問 電動キックボードや自転車シェアリングなど新たな課題や、電動アシスト自転車の普及に伴い増えている、子どもを乗せた親の自転車事故などに、区として対応すべき!

答弁 次期港区交通安全計画で明示する。

質問 コロナ禍の観光業が生き残るために生まれた、住まいから1時間程度で移動できる地元観光「マイクロツーリズム」を活かして、区のシビックプライド醸成につなげるべき!

答弁 身近な地域を巡る観光ルートを開発し、まちの魅力を再認識してもらうことで、区民のシビックプライド醸成につなげる。

記事の詳細は、丸山たかのり ホームページで！
https://maruyama-takanori.net/

コロナワクチン３回目接種について

・医療従事者の方へ
11/24、本年2月接種を開始した国立病院等で接種を開始した人に接種券を送付し、それ以外の方も順次発送する他、勤務先でも接種見込み

・一般区民の方へ
発送時期・発送方法等引き続き状況見ながら検討(来年1月下旬ころ？)

コロナ禍の今こそ、
生命(いのち)と生活(くらし)守ります!
公明党 港区議会議員
丸山たかのり News
Vol. 24

TEL 090-7010-1936/03-3578-2935 FAX 03-3578-2937
Mail：m70101936@gmail.com
発行：丸山たかのり事務所:芝浦 4-21-1-4408 TEL/FAX 03-5442-9223
発行日：令和３年１１月１８日

グリーンライフポイントの活用を!
脱炭素社会の取組を協力推進!!

港区議会決算委員会の質疑で、公明党が推進し、令和4年度から政府が実施予定の「グリーンライフポイント」をとりあげました。

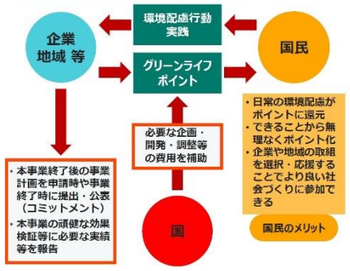
再エネ切替、食品ロス削減、プラ製スプーンの受け取り辞退といった、環境に配慮した消費行動に対してポイント付与するもの。

日本の温室効果ガス排出量の約6割は、衣食住や移動に伴うエネルギー消費などの家庭関連が占めており、脱炭素社会の実現には、国民一人一人のライフスタイルの転換が欠かせません。

港区では、家庭における省エネ・節電行動といった環境にやさしい行動の実践と定着を支援し、CO2 排出量の削減を促進することを目的に、「みなとエコチャレンジ」を実施。

しかし、令和2年度における参加世帯数(720 世帯)は、港区全体の世帯数の 0.5%程度に過ぎず、私は、グリーンライフポイントの活用などを提案しましたが、引き続き区内の脱炭素社会実現を強力に進める取組に全力で!!

4. 事業イメージ



※グリーンライフポイントの対象：ゼロカーボンアクション30等の省CO2、食の地産地消、サーキュラーエコノミー等のライフスタイルに関連するあらゆる環境配慮行動

認知症サポート店の認定開始!
共生社会実現に全力で!!

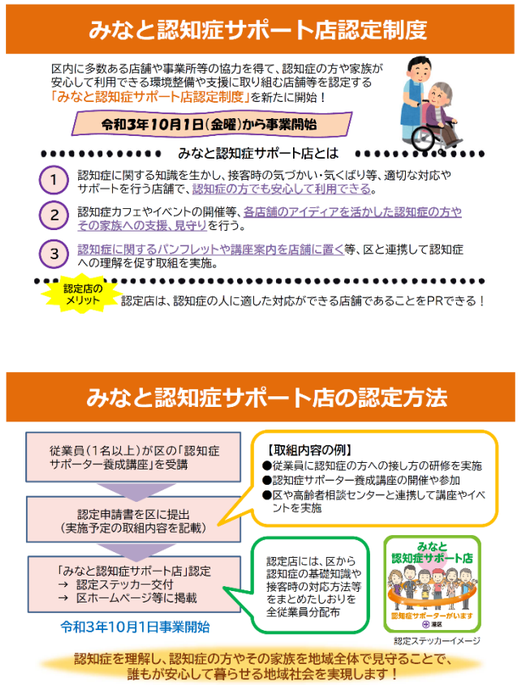
港区は、本年10月～認知症の方や家族が安心して利用できる「認知症サポート店」認定制度を開始。

認定を受けるためには、認知症サポーター養成講座への従業員1名以上の受講が必要で、各店舗のアイディアを活かしたイベントなど実施していただいたり、認知症の方とその家族への支援や見守りを行っていただきます。

私は、令和元年9月定例会の港区議会公明党代表質問で、認知症との共生社会実現のため、港区が平成 18 年から講座を開講し、約 2 万人も誕生している、区の認知症サポーターの活躍の場の整備を訴え。

今回サポート店として実現してよかったですが、年齢と認知症は相関関係にあり、九十代で五〇%、百歳を超えると八〇%が認知症になるとされ、二〇三〇年には全国で八百三十万人に達すると見込まれています。

引き続き、認知症の方も安心して住み続けられる、共生社会実現の取組を全力で進めてまいります!!



電子図書貸出・オンライン授業を開始!
コロナ禍の子どもの読書権・学習権を保障!!

本年11月1日から、港区電子図書館がオープン！港区議会公明党は、11 年前の平成 22 年から区立図書館の利用改善、推進を図る観点から、ウェブ図書館の導入を図るべきと訴えてまいりました。

また、私は、新型コロナの感染拡大中でも、特に子どもの読書権を保障するためにも、電子図書の導入促進や図書館を閉館しないよう、議会質問していました。

また、全ての港区立小中学校で、令和3年度2学期開始時より、登校しての対面授業・自宅でのオンライン授業を、選択的に履修できる「ハイブリッド授業」が実現しました。

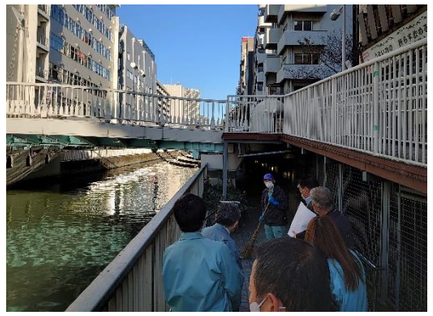
港区議会公明党は、区長への緊急要望や令和3年度予算特別委員会において、感染拡大を見据えたオンライン授業の整備や、オンライン授業を出席扱いとするよう求めていました。私も、学習障がいのある子どもたちの為にも、電子教科書の積極導入などを訴えていたので、よかったです！

鳩の餌やりの現場を港区と確認!
環境・公衆衛生への影響を防ぐ!!

芝浦3・4丁目の地域の方々と、港区芝浦港南地区総合支所関係者で、地域で長らく問題となっている鳩の餌やり現場を、11月10日歩いて確認。

特定の人が1日数回、運河沿いを中心に複数カ所に大量に餌をまく行為が、コロナ禍の 1 年余り続き、実際に餌やり被害現場を歩いてみると約1時間くらいかかり、かなり広範囲と実感。

餌やりの人は、後始末まではしてくれないので、結局区の委託業者が、鳩糞の清掃のために何度も出動することになり、また　残餌にネズミもたかっていたり、と環境だけでなく、公衆衛生上も大変に問題です

鳩の数も看過できないほど増殖していて、運河など公共の場所以外にも、ビルの公開空地(私有地)にも撒いているので、三田警察署の方とも連携しています。

私が提案していた、街路灯や電線に鳩よけを設置してくれたので、糞害は減りましたが、とはいえ、餌やりはむしろエスカレートしていますので、抑止のための対策も、区と連携して迅速に実施してまいります。